

アマモで繋がる人・海・人

関西大学北陽高等学校 生徒会執行部

神田 実紀・山本 くるみ

1. はじめに

本校は、2017年度より海洋教育パイオニアスクールプログラムに採択され、NPO法人環境教育技術振興会／NPO法人大阪湾沿岸域環境創造研究センターご協力の下、阪南市立西鳥取小学校と協働で「アマモ場再生」に取り組んできました。この2年間の活動では、「大阪湾の現状を理解する、アマモ移植によるアマモ場の拡大、海を大切に作る資質や能力の育成、出前授業の実施、アマモサミット参加」を通じて持続可能な地域づくりを提案できる知識、技術を学びました。そこで本年度は、継続的にプログラムを実施しながら、より多くの方に興味を持ってもらえるようなカリキュラムの開発と、環境保全に対する意識を高めるだけでなく、提案、発信できる能力を身につけたいと考えています。

アマモサミットでは3年間の活動報告をさせていただきます。

2. アマモ場再生活動

(1) 大阪湾生物調査 (5月初旬)

私たちの知らない大阪湾の魅力を発見し、大阪湾を大切に思う心を育てる。

(2) アマモ花枝採取／磯観察 (6月中旬)

阪南市内海岸にて、アマモ学習・花枝採取の方法を現地の小学生に指導し(写真-1)小学生との交流を図るだけでなく、ご協力いただいている漁業組合の方々や地域の方々との交流も積極的に行う。

(3) 海洋実習 (7月中旬)

海辺の危険や海、磯遊びのリスクマネージメントを学ぶ。

安全にシュノーケル(写真-2)をする能力と指導方法を学ぶ。

(4) せんなん里海さくらフェスティバル (9月初旬)

地域の方々に大阪湾の魅力を伝える。

海の安全教室実施、シュノーケル体験プログラムのサポートを行う。(写真-3)

(5) アマモ種子選別／アマモ学習会 (9月中旬)

大阪湾の魅力や「アマモ場再生活動」の目的を出前授業で指導する。(写真-4)
小学生との交流を図る。

2018年度より大阪市内の小学生に「出前授業」実施

2019年度より保健体育授業で「海洋教育」を実施

(6) アマモサミットに参加 (11月初旬)

他校の活動内容から課題を発見する。

(7) アマモ苗床作り／アマモ播種 (11月下旬)

苗床作りを行い、大阪湾を大切に思う心を育成する。(写真-5)

(8) 大阪湾フォーラム (2月下旬)

1年間の活動内容を発表する。

2018年度より関西大学北陽高等学校料理部参加。「大阪湾の魚を使ったレシピ開発」(写真-6)

3. 2019年度からの取り組み ※9月中旬よりスタート



(1) 保健体育科 保健 3単元「社会生活と健康」

高校2年生 44名 (男子27名/女子17名) 10時間

(2) 目的

海洋問題が様々な環境問題と繋がっていることを学び、私たち一人ひとりが「環境にやさしい」ライフスタイルを選択できる能力を養う。

グループワークを通じて海洋環境問題が身近であることを理解し、問題解決能力やプレゼンテーション能力の向上を図る。

(3) 授業内容

環境問題について学ぶ (3時間)
発表 (2時間)

海洋問題テーマ探し (1時間)
まとめ (1時間)

調べ学習 (3時間)



写真-1 学習会



写真-2 シュノーケル実習



写真-3 海の安全教室



写真-4 出前授業



写真-5 苗床作り



写真-6 調理実習

4. むすびに

大阪湾について学び、私たちにできることを考え実行することで、海と繋がり人と人が繋がる活動となってきました。こうして、私たちが「アマモ場再生」活動に取り組むことができましたのも NPO 法人環境教育技術振興会 岩井克巳さんをはじめ多くの皆様のお力添えがあったからです。温かいご支援、ご指導をいただきありがとうございました。

今後も、一人でも多くの方に「アマモ場再生」活動を知っていただき、豊かな大阪湾を取り戻し、未来に繋げることができるように継続して活動に取り組んでいきたいです。

私たちの活動は笹川平和財団「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の助成により実施しております。